



Tuuli



ト ウ ー リ 2020年12月15日発行

ボランティアの皆様へ

錦地区でボランティア活動をしていただいている皆様、いつもホームの事業へご理解いただき感謝申し上げます。

至誠ホームでは入居者の面会制限緩和を11月下旬から計画し、ボランティア活動についても活動によってはいよいよ再開のタイミングを図っていたところでした。

残念なことに、この時期に機を合わせる様に新型コロナウイルス感染の再拡大が始まり、面会もそれまでの遠隔スタイルに戻したところでした。

この感染拡大は、やはり気温と湿度の低下によるのか、「Go to……」キャンペーンの影響か、コロナ慣れた結果が呼んだのか、はたまたそれら全部の相互作用なのか、見当が付きません。

至誠ホームでも国分寺ミナと立川錦地区と至誠ホームオンニで職員、利用者に感染確認がありました。幸い感染は食い止められましたが、日に日に拡大していく感染状況には「油断大敵」「備えよ常に」です。

例年初詣で賑わう神社で新年のお札やお守りの前倒し授与を始めたというニュースがありました。参拝者の「密」を避けるためだそうです。どうやら年が明けても当分コロナ対応は続きそうです。

ボランティアの皆様には引き続き活動休止の状況です。再開について多くの問い合わせもいただき、ホームとしても通常の活動体制に戻すタイミングを模索していますが、現在の感染状況ではなかなか難しいところです。なんとか感染の収束を願い、必ずや活動の再開と皆様との再会がかなうものと信じております。

猛威をふるう新型コロナです。国際的にはワクチンの開発や先行接種の報道もありますが、我が国においては依然不明確なままです。

どうか健康に留意された日々を過ごされ、活動の再開と皆様にお会いできる日をお待ちいたします。

12月15日
至誠ホーム長 旭 博之

今月のキューピーちゃんのご紹介

12月はクリスマス🎄

毎月、本館正面玄関前に可愛らしい姿で登場するキューピーちゃん。

12月はサンタクロース&トナカイのキューピーちゃんです。

右側のリースは、アクティブセンターのご利用者の皆様にもお手伝いして頂き作成したリースだそうです。



タイトルのTuuliとはフィンランド語で「風」を意味します。皆様のもとにさわやかな風をお届けしたいと願っています。

連絡先

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 Tel: 042-527-0035 Fax: 042-527-2646
E-mail: shisei-volunteer@shisei.or.jp HP: <http://www.shisei.or.jp>

今回近況報告も兼ねてボランティアの皆様よりメッセージを頂きました。ボランティア活動休止が続く中で皆様からのメッセージは、皆様との繋がりも感じられ大変嬉しく思います。まだまだ厳しい状況が続いておりますが、活動再開を節に願い今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

至誠特別養護老人ホーム英語クラブ・ご詠歌クラブボランティア 阿川 聡子さん

「新型コロナはうんざり。」「終息はいつ来るのだろうか。」

ワクチンが出回るには時間がかかりそうだ。何も確定していない状態で、不安で、オドオドしながら生きている私達。

至誠ホームで、ボランティア活動を始めてから、10年以上、幸いなことに沢山のご利用者さんと交流が出来、英語、フィンランド語、ご詠歌等々、いつも元気を分かち合っていた。そんな当たり前の日常生活が、ある時、急にたたれた。あの頃を懐かしく思っています。‘忍耐は美德’

至誠ホームの皆様、いつもコロナからご利用者さんを守っている努力に、頭がさがります。今ひとふんばり、来年はコロナが不滅化し、終息して行き、明るい年になることを願っています。この暗くて、長いトンネルを抜けだし、明るい日常生活がきっと戻る日が来ると信じています。



至誠ホームアウリンコDH音楽活動ボランティア 須山グループ

アウリンコデイサービス利用者の皆様、こんにちは。須山グループです。

いつも皆様と一緒に歌い、笑い、語りあい、楽しい時間を過ごさせていただきありがとうございます。2月以降、新型コロナウィルス感染拡大のため、ずっとお目にかかれずにおりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

これまで10年以上もの長い間、利用者の皆様や職員の皆様の笑顔と応援に励まされながら活動を続けて来られた事に改めて思いを致し、グループ一同深く感謝しております。もうしばらくは辛抱が続くと思いますが、コロナが収まって、また皆様と一緒に楽しい時間を過ごさせていただく日が訪れる事を信じ、自己研鑽に励んでおります。私達も、自宅にいる時間が増えた事で、新しい学びもありました。皆様の笑顔を思い浮かべながら次回の楽しい活動を計画しております。厳しく長い冬の次には必ず光差す日がきます。

身近な街にも12月らしい光景が見られるようになりました。皆様も、どうぞお体にお気をつけて、元気にこの冬とコロナをのりきっていかれますよう、お祈りしております。



日野市ふれあいホール
玄関前にて



右側の2枚の写真も
須山グループの方より
送って頂きました。



立飛橋から

スオミGHボランティア 小川隆さん

ステイホーム期間中は、外出自粛、イベントは中止、帰省も控えるなど、ストレス発散の場も限られ、イライラがつのる日々でしたが、こんな状況でも毎日職務に専念する介護・医療関係者のことを思うと、自分がコロナを拡げるわけにはいかないと、納得して過ごしました。

ホームの皆さん。春から緊張を緩めるゆとりもなく、粛々と日々のお仕事に邁進され本当にお疲れ様です。ボランティアとしてお手伝い出来ず、無力を感じますが、善意の発揮どころを求めている人は少なからず居ます。協力出来る場を探して厳しい時代を乗り切りましょう。

利用者の皆さん。家族とも自由に会えず、日常の暮らしも以前と様変わりし、戸惑う日々が続いていると思います。いつか必ずボランティア活動が再開され会うことが出来る日まで、どうか元気で過ごして下さい。

